

■ワキ汗でお悩みの方へ！

汗は体温調節に重要ですが、日常生活に支障をきたす状態を多汗症と言います。明らかな原因が無いワキの多汗を『原発性腋窩多汗症』と言います。

治療方法には、①塗り薬②飲み薬③手術④レーザー療法⑤心理療法などがありますが、第6の療法として『ボツリヌス療法』が医療保険の適用となりました。

この療法はボツリヌス菌が作り出す天然のタンパク質から精製された薬をワキの下の皮膚に注射する治療法で、交感神経から汗腺への刺激の伝達をブロックし、発汗を抑えます。

2-7日で効き始め、4-9か月間効果が持続しますので、この夏にはまだまだ間に合います。ワキ汗で悩んでいるあなた！保険証を持って【はらクリニック】にGO!

平成27年5月分

NAVI通信原稿

はらクリニック 原 徹